
電子国土基本図(地名情報)

ファイル仕様書

第 1.4 版

令和6年3月

国土交通省 国土地理院

更新履歴

2012-07-30	第 1.0 版を公開	
2019-06-01	第 1.1 版を公開	公共施設の種別に「道の駅」を追加
2021-07-30	第 1.2 版を公開	公共施設の種別に「老人ホーム」「都市公園」を追加 シェープファイル形式のデータセットについて、符号 化方式を SHIFT-JIS から UTF-8 へ変更
2023-09-01	第 1.3 版を公開	問合せ先のメールアドレスを変更
2024-03-01	第 1.4 版を公開	外字フラグを代替文字フラグへ変更

目次

1. 概覧	3
2. 適用範囲	4
3. データ製品識別	5
4. データ内容及び構造	6
5. 参照系	15
6. データ品質	15
7. データ製品配布	15
8. メタデータ	19
付属書1 XMLスキーマ	20

1. 概覧

1.1. 電子国土基本図（地名情報）ファイル仕様書の作成情報

- ・ ファイル仕様書の題名：電子国土基本図（地名情報）ファイル仕様書
- ・ バージョン：第 1.4 版
- ・ 日付：2024-03-01
- ・ 作成者：国土交通省国土地理院
- ・ 言語：日本語
- ・ 分野：電子国土基本図
- ・ 文書書式：PDF

1.2. 目的

本仕様書は、国土地理院が整備・提供する電子国土基本図（地名情報）の構成とその内容を記述し、電子国土基本図（地名情報）が地理空間情報の流通，利活用の促進に資することを目的とする。

1.3. 空間範囲

日本国全域を含む範囲とする。

1.4. 時間範囲

特に定めない。

1.5. 引用規格

本仕様書は、次の規格を引用する。

- ・ JIS X7107 地理情報－空間スキーマ
- ・ JIS X7108 地理情報－時間スキーマ
- ・ JIS X7109 地理情報－応用スキーマのための規則
- ・ JIS X7110 地理情報－地物カタログ化法
- ・ JIS X7111 地理情報－座標による空間参照
- ・ JIS X7112 地理情報－地理識別子による空間参照
- ・ JIS X7113 地理情報－品質原理
- ・ JIS X7114 地理情報－品質評価手順
- ・ JIS X7115 地理情報－メタデータ
- ・ JIS X7123 地理情報－被覆の幾何及び関数のためのスキーマ
- ・ JIS X7131 地理情報－データ製品仕様

- JIS X7136 地理情報－地理マーク付け言語 (GML)
- ISO/TS 19103 Geographic Information – Conceptual schema language
- ISO 19118 Geographic Information – Encoding
- 日本版メタデータプロファイル (JMP2.0 仕様書)
- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014
- 品質の要求, 評価及び報告のための規則 (令和元年 7 月)
- JIS X0301 情報交換のためのデータ要素及び交換形式－日付及び時刻の表記

1.6. 用語と定義

本仕様書で使用する専門用語とその定義については次の資料にしたがう。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014

1.7. 略語

GML

Geography Markup Language 地理情報マークアップ言語

JMP

Japan Metadata Profile 日本版メタデータプロファイル

JPGIS

Japan Profile for Geographic Information Standards 地理情報標準プロファイル

UML

Unified Modeling Language 統一モデリング言語

UUID

Universal Unique Identifier ユニバーサル固有識別子

XML

eXtensible Markup Language 拡張可能マークアップ言語

2. 適用範囲

本仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1. 適用範囲識別

電子国土基本図 (地名情報) として提供されるデータを適用範囲とする。

2.2. 階層レベル

データセット群

3. データ製品識別

3.1. 地理空間データ製品の名称

電子国土基本図（地名情報）

3.2. 日付

2024-03-01 第 1.4 版

3.3. 問合せ先

国土交通省 国土地理院 基本図情報部 お問い合わせ窓口

電話：029-864-1111 E-mail: gsi-nmd-inq@mlit.go.jp

3.4. 地理記述

日本国全域

4. データ内容及び構造

4.1. 応用スキーマ UML クラス図

4.1.1. パッケージ構成

電子国土基本図（地名情報）応用スキーマのパッケージ構成を図 4-1 に示す。ここで地理情報標準提供クラス群とあるのは、JIS X 7100 シリーズ、ISO19100 シリーズに準拠した JPGIS によって提供される各種パッケージを包括して指している。

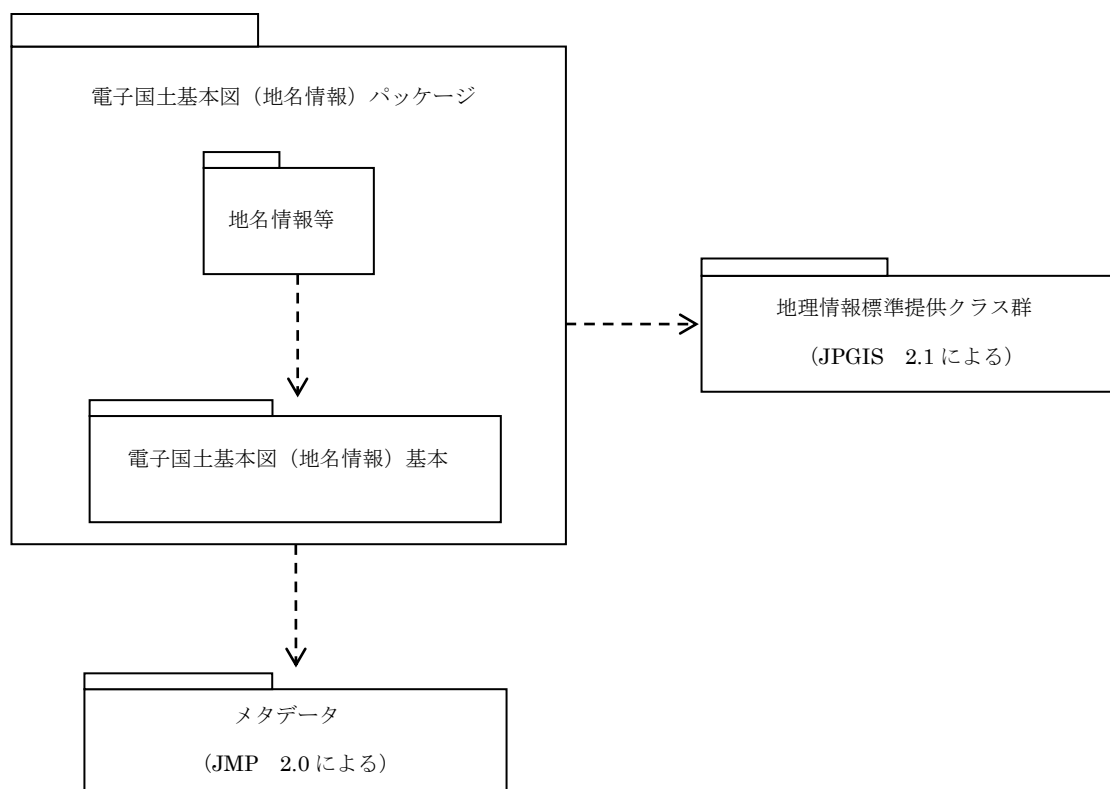


図 4-1 パッケージ構成

4.1.2. 電子国土基本図（地名情報）基本パッケージ

電子国土基本図（地名情報）基本パッケージの内容を図 4-2 に示す。このパッケージは、電子国土基本図（地名情報）として定義されたすべての地物の親クラスである「電子国土基本図（地名情報）地物」抽象クラスを定義している。

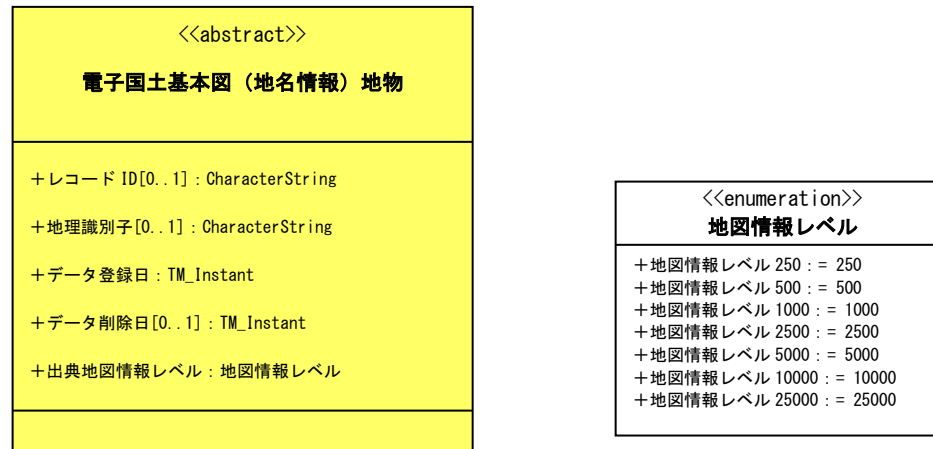


図 4-2 電子国土基本図（地名情報）基本パッケージ

4.1.3. 地名情報等パッケージ

地名情報等パッケージの内容を図 4-3 に示す。このパッケージは、居住地名、自然地名、公共施設、信号交差点とそれに属するクラスを定義している。

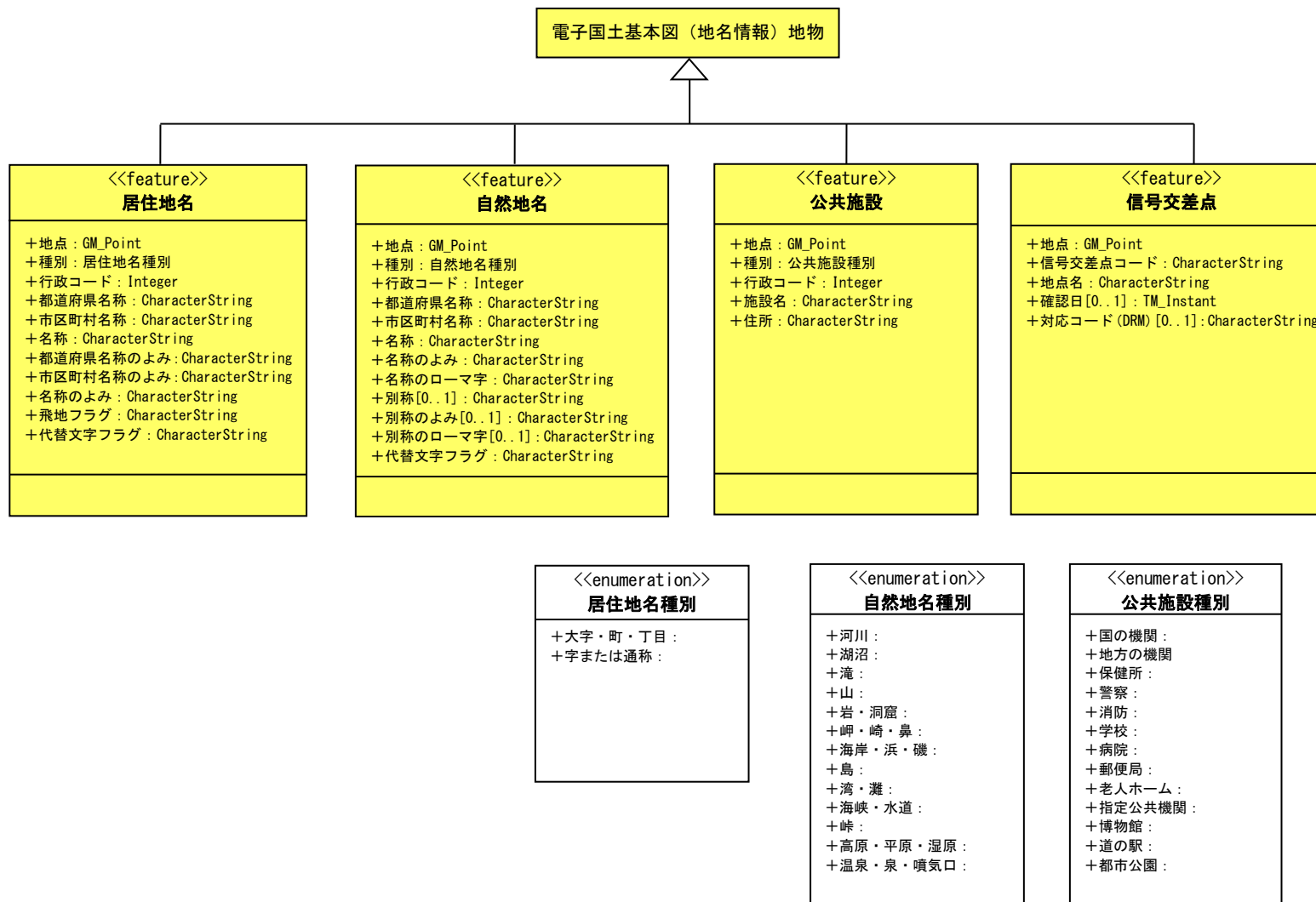


図 4-3 地名情報等パッケージ

4.2. 応用スキーマ文書（地物カタログ）

この節では電子国土基本図（地名情報）のすべてのクラスに関する詳細情報を、JIS X7109（応用スキーマのための規則）およびJIS X7110（地物カタログ化法）に準拠した応用スキーマおよび地物カタログとして定義し記述している。

4.2.1. 地物カタログ情報

この項では、JIS X7110におけるFC_FeatureCatalogueクラスの情報を記述している。

地物カタログ名：電子国土基本図（地名情報） 地物カタログ

対象範囲：本仕様書が対象とするすべての地物

バージョン：本仕様書のバージョンと同一

発行年月日：本仕様書の日付と同一

作成機関：本仕様書の作成者と同一

4.2.2. 地物情報

この項では、電子国土基本図（地名情報）として定義された地物クラス群およびそれと関連したクラスについて、JIS X7110におけるFC_FeatureType, FC_PropertyType, FC_FeatureAttribute, FC_AssociationRole, FC_InheritanceRelation, FC_DefinitionReference, FC_ListedValueの各クラスに対応した情報を記述している。

電子国土基本図（地名情報）基本パッケージ

このパッケージは、電子国土基本図（地名情報）として定義されたすべての地物の親クラスである「電子国土基本図（地名情報）地物」抽象クラスを定義している。

電子国土基本図（地名情報）地物

「電子国土基本図（地名情報）地物」抽象クラスは、この応用スキーマで定義されたすべての地物クラスの親クラスである。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：抽象

属性：

レコード ID[0..1]：CharacterString

※本版においては未使用。

地理識別子[0..1]：CharacterString

電子国土基本図（地名情報）において使用する地理識別子。

データ登録日 : TM_Instant

電子国土基本図（地名情報）としてこの地物の登録が完了したと判断された時点。
地物の実体が存在しはじめた時点ではない。

電子国土基本図（地名情報）として初回提供の年月日，または，提供後に内容が更新された場合は更新年月日を設定する。

データ形式はyyyy-mm-dd形式である。

データ削除日 [0..1] : TM_Instant

電子国土基本図（地名情報）としてこの地物の実体が現存しないと判断された時点，もしくは，されるべき時点。

この値が設定されていない場合は，この地物の実体が現存するとみなす。更新のタイミングによっては，電子国土基本図（地名情報）としては地物が存在していても，地物の実体が現存しないこともある。

データ形式はyyyy-mm-dd形式である。

出典地図情報レベル : 地図情報レベル

この地物が，出典元の測量成果として取得されたときの地図的表現精度（位置精度及び表現分類）を図面の縮尺に対する概念として表した数値。

地図情報レベル（列举型）

電子国土基本図（地名情報）についての地物の地図的表現精度（位置精度及び表現分類）を図面の縮尺に対する概念として表した数値。

列举値 :

地理情報レベル 250 = 250	: 縮尺 1/250 の取得精度
地理情報レベル 500 = 500	: 縮尺 1/500 の取得精度
地理情報レベル 1000 = 1000	: 縮尺 1/1000 の取得精度
地理情報レベル 2500 = 2500	: 縮尺 1/2500 の取得精度
地理情報レベル 5000 = 5000	: 縮尺 1/5000 の取得精度
地理情報レベル 10000 = 10000	: 縮尺 1/10000 の取得精度
地理情報レベル 25000 = 25000	: 縮尺 1/25000 の取得精度

地名情報等パッケージ

このサブパッケージは，居住地名，自然地名，公共施設，信号交差点に関するクラスを定義している。

居住地名

居住地の名称とその代表点。

上位クラス：電子国土基本図（地名情報）地物

属性：

地点：GM_Point

居住地の代表点。

種別：居住地名種別

居住地名の種別。

列举値として、「大字・町・丁目」、「字または通称」のいずれかが設定される。

行政コード：Integer

行政区画(市町村, 東京都の区, 指定都市の区)に対応した全国地方公共団体コード。

都道府県名称：Character String

都道府県の名称。

市区町村名称：Character String

市区町村の名称。

名称：Character String

居住地の名称。

都道府県名称のよみ：Character String

都道府県の名称のよみ。

市区町村名称のよみ：Character String

市区町村の名称のよみ。

名称のよみ：Character String

居住地の名称のよみ。

飛地フラグ：Character String

飛地を識別するためのフラグ。

ここでは、同一名称の居住地が複数存在する場合に、飛地が存在すると定義する。

飛地が存在しない場合は「0」が入る。

飛び地が存在する場合は「1」が入る。

代替文字フラグ：Character String

名称に代替文字が含まれるかを識別するフラグ。

代替文字が含まれない場合は「0」が入る。

代替文字が含まれる場合はその文字位置と代替文字の Unicode が入る。(通常の文字を「*」で表記し文字間を「_」で繋ぐ。)

例) 四文字の地名で三文字目が代替文字の場合 「*_*_231C3_*」

居住地名種別 (列举型)

居住地名の種別。

列举値：

大字・町・丁目：
字または通称：

自然地名

自然地名とその代表点。

上位クラス：電子国土基本図 (地名情報) 地物

属性：

地点：GM_Point

自然地名の代表点。

種別：自然地名種別

自然地名の種別。

列举値として、「河川」、「湖沼」、「滝」、「山」、「岩・洞窟」、「岬・崎・鼻」、「海岸・浜・磯」、「島」、「湾・灘」、「海峡・水道」のいずれかが設定される。

行政コード：Integer

行政区画(市町村，東京都の区，指定都市の区)に対応した全国地方公共団体コード。

都道府県名称：Character String

都道府県の名称。

市区町村名称：Character String

市区町村の名称。

名称：Character String

自然地名。

名称のよみ：Character String

自然地名のよみ。

名称のローマ字：Character String

自然地名のローマ字。

別称[0..1]：Character String

自然地名の別称。

別称のよみ[0..1]：Character String

自然地名の別称のよみ。

別称のローマ字[0..1]：Character String

自然地名の別称のローマ字。

代替文字フラグ：Character String

名称に代替文字が含まれるかを識別するフラグ。

代替文字が含まれない場合は「0」が入る。

代替文字が含まれる場合はその文字位置と代替文字の Unicode が入る。(通常の文字を「*」で表記し文字間を「_」で繋ぐ。)

例) 四文字の地名で三文字目が代替文字の場合 「*_*_231C3_*」

自然地名種別 (列举型)

自然地名の種別。

列举値：

河川：

湖沼：

滝：

山：

岩・洞窟：

岬・崎・鼻：

海岸・浜・磯：

島：

湾・灘：

海峡・水道：

峠：

高原・平原・湿原：

温泉・泉・噴気口：

公共施設

公共施設建物の名称とその代表点。

上位クラス：電子国土基本図 (地名情報) 地物

属性：

地点：GM_Point

公共施設建物の代表点。

種別：公共施設種別

公共施設の種別。

列举値として、「国の機関」、「地方の機関」、「保健所」、「警察」、「消防」、「学校」、「病院」、「郵便局」、「老人ホーム」、「指定公共機関」、「博物館」、「道の駅」、「都市公園」のいずれかが設定される。

行政コード：Integer

行政区画(市町村, 東京都の区, 指定都市の区)に対応した全国地方公共団体コード。

施設名：Character String

公共施設の名称。

住所 : Character String

公共施設の住所。

公共施設種別 (列挙型)

公共施設の種別。

列挙値 :

国の機関 :

本省・出先機関

地方の機関 :

都道府県庁, 市役所, 東京都の区役所, 町村役場, 政令指定都市の区役所, 北海道の総合振興局及び振興局, 離島の支庁

保健所 :

地域保健法に基づく保健所 (支所, 出張所を除く)

警察 :

警視庁, 道府県警察本部, 警察署, 交番, 駐在所, 派出所, 警察学校

消防 :

消防本部, 消防署, 支署, 分署, 出張所, 分遣所

学校 :

学校教育法に基づく大学, 短期大学, 専門職大学, 専門職短期大学, 高等専門学校, 中等教育学校, 高等学校, 中学校, 小学校, 義務教育学校, 特別支援学校

病院 :

救急病院等を定める省令に基づき告示された救急病院及び救急診療所, 災害拠点病院

郵便局 :

直営郵便局及び簡易郵便局 (分室及び常設の出張所を含む)

老人ホーム :

老人福祉法に基づく養護老人ホーム, 特別養護老人ホーム, 軽費老人ホーム

指定公共機関 :

災害対策基本法等に基づく指定公共機関 (本社, 支社及び支店)

博物館 :

博物館法に基づく登録博物館及び博物館相当施設, 国立博物館

道の駅 :

国土交通省に登録された道の駅

都市公園 :

都市公園法, 都市計画法に基づく公園施設のうち, 都市基幹公園 (総合公園, 運動公園), 大規模公園 (広域公園, レクリエーション公園), 国営公園

信号交差点

信号機が設置された交差点の代表点。

上位クラス : 電子国土基本図 (地名情報) 地物

属性 (上位クラスから継承した属性に関する特記事項) :

地理識別子[0..1] : CharacterString

地理識別子（信号交差点）の構造は下表のとおりとなっている。

地理識別子責任機関名	地物種別	個別コード
http://gi.gsi.go.jp/	shingo	信号交差点コード

例) http://gi.gsi.go.jp/shingo/13012345

[上位クラス：電子国土基本図（地名情報）地物](#)

[属性：](#)

地点：GM_Point

交差点の位置。

信号交差点コード：Character String

すべての信号交差点のなかで、一意にこの信号交差点を識別するコード。

都道府県単位に、都道府県コード2桁+任意の6桁の計8桁。

地点名：Character String

交差点の名称。

現地確認を行った結果、名称が無い場合は「_なし」が入る。

現地で名称が未確認の場合は、「_未確認」が入る。

確認日 [0..1]：TM_Instant

現地確認を行った日。

対応コード (DRM) [0..1]：Character String

一般財団法人日本デジタル道路地図協会 (DRM) の基本道路ノード番号。

5. 参照系

5.1. 空間参照系

参照系識別子：JGD2011 / (B, L)

5.2. 時間参照系

参照系識別子：JC / JST

6. データ品質

地図情報レベル 25000 と同等程度の品質とする。

7. 配布に関する情報

7.1. 配布方法

数値地図（国土基本情報）は、インターネットを利用したオンライン刊行及び DVD 等の媒体によって提供される。

数値地図（国土基本情報）サイトの URL は

<http://www.gsi.go.jp/kibanjoho/kibanjoho40027.html> である。

数値地図（国土基本情報）のデータセットの作成単位は、地域標準メッシュ（JIS X0410 による）の第 2 次地域区画を基本とし、さらに、地物クラスごとに別データセットとなっている。また、提供されるファイルは、電子国土基本図（地名情報）のほかに、電子国土基本図（地図情報）、メッシュ標高情報も同梱された zip 形式となっている。

電子国土基本図（地図情報）及びメッシュ標高情報については、それぞれの製品仕様書を参照されたい。

7.2. 配布形式情報

データの形式は、JPGIS2014 形式及びシェープファイル（Shapefile）形式である。

7.2.1. データセット構成

電子国土基本図（地名情報）は、4 章で示された応用スキーマの構成をもち、JPGIS2014 に準拠した形式の XML 文書として符号化されたデータセットである。

なお、データファイルは ZIP 形式で圧縮されているのでそれを解凍する必要がある。

7.2.2. 符号化規則

電子国土基本図（地名情報）の符号化規則は、JPGIS2014 による。また、文字符号化方式は UTF-8 である。

シェープファイル（Shapefile）形式は、米国 ESRI 社が提唱しているベクトルフォーマットである。また、文字符号化方式は、UTF-8 である。

7.2.3. 言語

データセット中の記述箇所で用いる言語は日本語である。

7.2.4. 名前空間

データセットのなかで用いる名前空間は、表 7-1 のとおり設定している。

なお、これら名前空間の名称は定義名であって、必ずしも実体が存在する場所を示すものではない。

表 7-1 名前空間の設定

名前空間の 接頭辞	名前空間の名称
(なし)	http://gi.gsi.go.jp/spec/2012/DKGNI_GMLSchema
gml	http://www.opengis.net/gml/3.2
xsi	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance

xlink	http://www.w3.org/1999/xlink
-------	---

7.2.5.符号化におけるタグ名

ISO 19100 / JIS X7100 シリーズの標準スキーマが提供するクラス名・属性名・関連名については、JPGIS2014 附属書 12 で規定するタグ名を使用する。

先に示した応用スキーマのクラス名・属性名・関連役割名に対する XML 文書におけるタグ名は、表 7-2 のように割り当てる。

表 7-2 XML 文書におけるタグ名の割当て

クラス名	属性名	タグ名
電子国土基本図(地名情報)地物 (DK ((Geographical Name Information) Feature)		DKGNIFeature
	レコード ID (Record ID)	rID
	地理識別子 (Geographic Identifier)	giid
	データ登録日 (Life Span From)	lfSpanFr
	データ削除日 (Life Span To)	lfSpanTo
	出典地図情報レベル (Original Geographic Information Level)	orgGILvl
居住地名 (Name of Residence-Point)		NRPt
	地点 (position)	pos
	種別 (Type)	type
	行政コード (Administrative Area Code)	admCode

	都道府県名称 (Prefecture Name)	preName
	市区町村名称 (City Name)	citName
	名称 (Name)	name
	都道府県名称のよみ (Prefecture Name-kana)	preN_kana
	市区町村名称のよみ (City Name-kana)	citN_kana
	名称のよみ (kana)	kana
	飛地フラグ (tobichi-Flag)	tobichiFlg
	代替文字フラグ (replaceCharacter-Flag)	repCharFlg
自然地名 (Names of Natural Features-Point)		NNFPt
	地点 (position)	pos
	種別 (Type)	type
	行政コード (Administrative Area Code)	admCode
	都道府県名称 (Prefecture Name)	preName
	市区町村名称 (City Name)	citName
	名称 (Name)	name
	名称のよみ (kana)	kana
	名称のローマ字 (Romanized Japanese)	rj
	別称 (Another Name)	Aname

	別称のよみ (kana)	Akana
	別称のローマ字 (Romanized Japanese)	Arj
	代替文字フラグ (replaceCharacter-Flag)	repCharFlg
公共施設 (Public Facilities -Point)		PFPt
	地点 (position)	pos
	種別 (Type)	type
	行政コード (Administrative Area Code)	admCode
	施設名 (Name of Public Facility)	pfName
	住所 (Address)	Address
信号交差点 (Crossing with Signal -Point)		CSPt
	地点 (position)	pos
	信号交差点コード (Crossing with Signal Code)	csCode
	地点名 (Point Name)	ptName
	確認日 (confirmed Date)	conDate
	対応コード(DRM) (DRM Correspondence Code)	drmCode

7.2. 配布対象の地物

電子国土基本図（地名情報）の配布対象となる地物は表 7-3 のとおりである。

表 7-3 配布対象の地物

項目名	クラス名	空間属性	備考
居住地名	居住地名	点	
自然地名	自然地名	点	
公共施設	公共施設	点	
信号交差点	信号交差点	点	

7.3. XML スキーマ定義ファイル

電子国土基本図（地名情報）に関する XML スキーマ定義ファイルは付属書 1 のとおりである。

8. メタデータ

本ファイル仕様書のメタデータは、JMP2.0 を採用する。

付属書 1 XML スキーマ

【DKGNI_GMLSchema.xsd】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema targetNamespace="http://gi.gsi.go.jp/spec/2012/DKGNI_GMLSchema"
  xmlns:dkgni="http://gi.gsi.go.jp/spec/2012/DKGNI_GMLSchema"
  xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2"
  xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink"
  xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns="http://gi.gsi.go.jp/spec/2012/DKGNI_GMLSchema"
  elementFormDefault="qualified"
  attributeFormDefault="unqualified" >
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>
      電子国土基本図（地名情報） 提供データ用 XML Schema (GML 版)
      2024 年 3 月 (March 2024)
      国土交通省国土地理院（The Geospatial Information Authority of Japan (GSI), Ministry of Land,
      Infrastructure, Transport and Tourism)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
    schemaLocation="http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/gml.xsd"/>

  <!--==== ルート要素定義 =====>
  <xs:element name="Dataset" type="DatasetType" substitutionGroup="gml:AbstractGML"/>
  <xs:complexType name="DatasetType">
    <xs:complexContent>
      <xs:extension base="gml:AbstractGMLType">
        <xs:sequence >
          <xs:element ref="gml:AbstractGML" maxOccurs="unbounded"/>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>

  <!--==== 電子国土基本図（地名情報）地物（抽象クラス） =====>
```

```

<xs:element name="DKGNIFeature" type="dkgni:DKGNIFeatureType" abstract="true"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
<xs:complexType name="DKGNIFeatureType">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="gml:AbstractFeatureType">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="rID" type="xs:string" minOccurs="0"/> <!-- レコード ID -->
        <xs:element name="giid" type="xs:string" minOccurs="0"/> <!-- 地理識別子 -->
        <xs:element name="lfSpanFr" type="gml:TimeInstantType"/> <!-- データ登録日 -->
        <xs:element name="lfSpanTo" type="gml:TimeInstantType" minOccurs="0"/> <!-- データ削除日 -->
        <xs:element name="orgGILvl" type="dkgni:地図情報レベル列挙型"/> <!-- 出典地図情報レベル -->
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

<xs:simpleType name="地図情報レベル列挙型">
  <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:enumeration value="250"/>
    <xs:enumeration value="500"/>
    <xs:enumeration value="1000"/>
    <xs:enumeration value="2500"/>
    <xs:enumeration value="5000"/>
    <xs:enumeration value="10000"/>
    <xs:enumeration value="25000"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>

<!--==== 各種地物クラスの定義 =====>

<!--==== 居住地名（代表点） =====>
<xs:element name="NRPt" type="dkgni:NRPtType" substitutionGroup="dkgni:DKGNIFeature"/>
<xs:complexType name="NRPtType">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="dkgni:DKGNIFeatureType">
      <xs:sequence>

```

```

    <xs:element name="pos" type="gml:PointPropertyType"/>      <!-- 地点 -->
    <xs:element name="type" type="dkgni:居住地名種別列挙型"/> <!-- 種別 -->
    <xs:element name="admCode" type="xs:integer"/>           <!-- 行政コード -->
    <xs:element name="preName" type="xs:string"/>           <!-- 都道府県名称 -->
    <xs:element name="citName" type="xs:string"/>           <!-- 市区町村名称 -->
    <xs:element name="name" type="xs:string"/>              <!-- 名称 -->
    <xs:element name="preN_kana" type="xs:string"/>         <!-- 都道府県名称のよみ -->
    <xs:element name="citN_kana" type="xs:string"/>         <!-- 市区町村名称のよみ -->
    <xs:element name="kana" type="xs:string"/>              <!-- 名称のよみ -->
    <xs:element name="tobichiFlg" type="xs:string"/>       <!-- 飛地フラグ -->
    <xs:element name="repCharFlg" type="xs:string"/>       <!-- 代替文字フラグ -->
  </xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>

<xs:simpleType name="居住地名種別列挙型" >
  <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:enumeration value="大字・町・丁目"/>
    <xs:enumeration value="字または通称"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>

<!--==== 自然地名（代表点） =====>
<xs:element name="NNFPt" type="dkgni:NNFPtType" substitutionGroup="dkgni:DKGNIFeature"/>
<xs:complexType name="NNFPtType">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="dkgni:DKGNIFeatureType">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="pos" type="gml:PointPropertyType"/>      <!-- 地点 -->
        <xs:element name="type" type="dkgni:自然地名種別列挙型"/> <!-- 種別 -->
        <xs:element name="admCode" type="xs:integer"/>           <!-- 行政コード -->
        <xs:element name="preName" type="xs:string"/>           <!-- 都道府県名称 -->
        <xs:element name="citName" type="xs:string"/>           <!-- 市区町村名称 -->
        <xs:element name="name" type="xs:string"/>              <!-- 名称 -->
        <xs:element name="kana" type="xs:string"/>              <!-- 名称のよみ -->

```



```

        <xs:element name="rj" type="xs:string"/>          <!-- 名称のローマ字 -->
        <xs:element name="Aname" type="xs:string" minOccurs="0"/> <!-- 別称 -->
        <xs:element name="Akana" type="xs:string" minOccurs="0"/> <!-- 別称のよみ -->
        <xs:element name="Arj" type="xs:string" minOccurs="0"/> <!-- 別称のローマ字 -->
        <xs:element name="repCharFlg" type="xs:string"/> <!-- 代替文字フラグ -->
    </xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>

<xs:simpleType name="自然地名種別列挙型" >
    <xs:restriction base="xs:string">
        <xs:enumeration value="河川"/>
        <xs:enumeration value="湖沼"/>
        <xs:enumeration value="滝"/>
        <xs:enumeration value="山"/>
        <xs:enumeration value="岩・洞窟"/>
        <xs:enumeration value="岬・崎・鼻"/>
        <xs:enumeration value="海岸・浜・磯"/>
        <xs:enumeration value="島"/>
        <xs:enumeration value="湾・灘"/>
        <xs:enumeration value="海峡・水道"/>
        <xs:enumeration value="峠"/>
        <xs:enumeration value="高原・平原・湿原"/>
        <xs:enumeration value="温泉・泉・噴気口"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>

<!--==== 公共施設 ====-->
<xs:element name="PFPt" type="dkgni:PFPtType" substitutionGroup="dkgni:DKGNIFeature"/>
<xs:complexType name="PFPtType">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="dkgni:DKGNIFeatureType">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="pos" type="gml:PointPropertyType"/> <!-- 地点 -->
                <xs:element name="type" type="dkgni:公共施設種別列挙型"/> <!-- 種別 -->
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

        <xs:element name="admCode" type="xs:integer"/>          <!-- 行政コード -->
        <xs:element name="pfName" type="xs:string"/>          <!-- 施設名 -->
        <xs:element name="Address" type="xs:string"/>         <!-- 住所 -->
    </xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>

<xs:simpleType name="公共施設種別列挙型" >
    <xs:restriction base="xs:string">
        <xs:enumeration value="国の機関"/>
        <xs:enumeration value="地方の機関"/>
        <xs:enumeration value="保健所"/>
        <xs:enumeration value="警察"/>
        <xs:enumeration value="消防"/>
        <xs:enumeration value="学校"/>
        <xs:enumeration value="病院"/>
        <xs:enumeration value="郵便局"/>
        <xs:enumeration value="老人ホーム"/>
        <xs:enumeration value="指定公共機関"/>
        <xs:enumeration value="博物館"/>
        <xs:enumeration value="道の駅"/>
        <xs:enumeration value="都市公園"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>

<!--===== 信号交差点 =====>
<xs:element name="CSPt" type="dkgni:CSPtType" substitutionGroup="dkgni:DKGNIFeature"/>
<xs:complexType name="CSPtType">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="dkgni:DKGNIFeatureType">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="pos" type="gml:PointPropertyType"/>          <!-- 地点 -->
                <xs:element name="csCode" type="xs:string"/>                  <!-- 信号交差点コード -->
                <xs:element name="ptName" type="xs:string" minOccurs="0"/>    <!-- 地点名 -->
                <xs:element name="conDate" type="gml:TimeInstantType" minOccurs="0"/> <!-- 確認日 -->
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```
        <xs:element name="drmCode" type="xs:string" minOccurs="0"/> <!-- 対応コード (DRM) -->
    </xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>

</xs:schema>
```